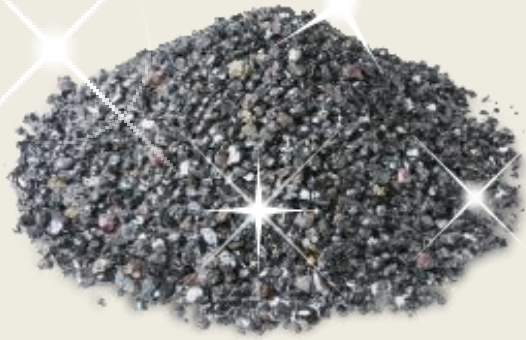


群桐エコロ製の人工砂の名称が

『サーブルオール』（フランス語で金の砂）に決定いたしました。



2月12日～22日の期間、群桐グループ全社員を対象とした群桐エコロ製人工砂の名称を決める社内公募。

先日、群桐エコロ総務部の平澤さんが考案した「サーブルオール」に決定いたしました。

今後群桐ブランドとして、本名称を広く定着させていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

また、日々の業務で忙しい中、公募にご協力いただいた群桐グループのみなさん、ありがとうございました。

今回、考案していただいた平澤さんにインタビューしました。



ひらさわ ひかり
平澤 光 さん

群桐エコロ株式会社 総務部
1987年生まれ。前橋西高校卒業後、東京にて就職。その後群馬に戻り、2011年4月に株式会社エコロジスタ(現 群桐エコロ株式会社)へ入社。総務でありながら、危険物取扱者(乙種第4類)を取得済。

Inventor's Interview

——名前を思い付いたきっかけは？

最初に全員提出と言われた時に、とりあえず外国語にしようとは思っていました。期限が長かったのでまだいいやと思って他の仕事を優先していましたね。あと、実は最初メタルと勘違いしていました。金が含まれているじゃないですか。でもまあ元が同じだからいいかなってこの名前前で提出しました(笑)。後付けにはなりますけど、会社を代表する「宝」になればいいなと思って…。

——フランス語を選んだのは？

最初、色々な外国語を探したんですよ。「砂」系の言葉が入っているやつで。難しいと覚えられないのでそこまで難しくなく、でも簡単すぎて短すぎてもインパクトに欠ける。探して

て、これは響きがいいかなって…確かドイツ語とかだと発音がサンドとか英語に近くなってしまうので、名前を聞いた時「どんな意味？」ってなるぐらいのほうがいいかなって思いました。

——今回選ばれてどんな気持ちですか？

「瓢箪から駒」ですね(笑)。嬉しい反面、残っちゃうじゃないですか…ずっと。いいのかなっていうのも。あと、もっと選ばれたくて考えていた人もいると思うんですよ。ちょっと申し訳ないという気持ちもありますね。でも素直に嬉しいです。選んでいただいて本当にありがとうございました。